

進路だより

5月号

令和6年5月1日発行

入学、進級から約1か月が過ぎ、児童生徒たちも少しずつ新しい学校生活にも慣れてきたようです。6月になると、中、高等部では校内実習や産業現場等における実習が始まります。特に高等部3年生にとっては、進路決定のための大切な期間になりますので御家庭においても御協力をよろしくお願いいたします。

さて、今年度も「進路だより」では、小学部から高等部までのキャリア教育や進路指導の取組や、将来の進路選択に関する情報の提供などをしていきます。今回は、進路指導に関する年間計画、昨年度の卒業生の進路状況などについてお知らせいたします。御家庭において、進路を考えるきっかけとしていただければと思います。

令和6年度 進路指導に関する年間予定

※詳細は行事前の通知を御確認ください。

つき月	たいしやう対象	ないやう内容
5	ちやう中 ぜんがくぶ全学部	こうないじっしやう校内実習①（中） しんろきぼうしやうさ進路希望調査
6	こう2 こう高 こう高	はろーわーくおやまけんがくたいしやうせいとハローワーク小山見学（対象生徒） こうないじっしやうおよげんばじっしやう校内実習及び現場実習（高） あびりんぴくたいかいアビリンピック大会（対象生徒）
7	こう1 ぜんがくぶ全学部	しやくばけんがくしやくばけんがく職場見学… CSW おとめ、工房つばさ ふくししせつせつめいかい福祉施設説明会
	こう3 高3	しんろそうだんかい進路相談会（各市役所等）
9	こう1 こう2	しやくばけんがく職場見学…コマツ（対象生徒） しやくぎやう職業ガイダンス（就職希望者）
10	ちやう中・高	こうないじっしやう校内実習②（中）・校内及び現場実習（高）
11	こう1・2 ちやう中3	しんろかんこじんこんだん進路に関する個人懇談 しやくばけんがく職場体験…えいぶるの里・工房つばさ等
12	こう高	そつぎやうせいこうわ卒業生講話
2	こう1 ちやう中 ちやう中1 ちやう中2	しやうぎやうたいけん就業体験（対象生徒） こうないじっしやう校内実習③ しやくばけんがく職場見学 しせつけんがくだい施設見学…第2くわのみ
3	ほごしや保護者 こう高 こう高3	さんふらわーわーくせんたーサンフラワーワークセンター 「OOS 教えておおぞら先輩」 こうないおよげんばじっしやう校内及び現場実習 ないていつやちじゆよしき内定通知授与式

◇7月進路相談会の様子（小山市役所）



こうとうぶ3ねんせい高等部3年生、ほごしや保護者、たんになん担任、ふくたんにん副担任と一緒に、そつぎやうせいこうわ卒業後の生活に向けて、きやうちのふくし課や相談支援センター、その他関係機関の方と進路相談会があります。てつづきの方法や困りごとなどの相談を行います。

◇福祉施設説明会の様子



こんねんと今年度も7がつ22にち（月）にふくししせつ福祉施設説明会を計画しています。ふくしサービスのいろいろな情報をしやうほうしやうしゅう収集できる機会になります。

令和5年度 高等部卒業生の進路先

人数	施設及び企業名	作業の内容
福祉的就労 29名	工房つばさ、なのはな・すみれ、Enishi、そらイロ、CSW おとめ、つるたみ、サンフラワーワークセンター、カルミア小山、一桃舎、くわの実、第2くわの実、紬の家あおやま（小山）、来夏、ハッピーライフ、ゆうの家、あいのいえ、けやきの家、ライフサポートヒラソル、紬の家あおやま（結城）、陽	軽作業、箱折り、農作業、パン・ラスク作り、製品袋詰め、値札付け、販売活動、清掃活動、PC入力、ボールペンの組立、製造補助、座学、制作活動、施設外作業、余暇活動等
一般就労 6名	コマツ小山工場、コマツカミーズエンジン かましん小山天神町、ソウイング、GFF UACJ グリーンネット	製造補助、調理補助、商品陳列等、車内清掃等、環境整備等

先輩保護者からのメッセージ

R5年度卒業 福祉施設利用保護者

おかげさまで息子は4月から福祉事業所に元気に通っています。

息子は中学部から本校に入学し9年間お世話になりました。在学中は放課後等デイサービスの利用や祖母にお迎えなどサポートしてもらうことが多かったです。進路を考えるようになったのは高等部1年生の夏休み。「福祉施設説明会」で近隣の福祉事業所の説明を聞いてから、息子の興味のありそうな自宅近くの事業所の見学に行きました。

そして高等部2年生になると2か所実習に行くことになります。

息子は高等部の農業班で楽しく作業していたので、1回目は農業の事業所に実習に行きました。しかし実習の農作業は学校とは違い、想定よりもハードな作業が多く、のんびりな性格の息子にとって長く働くのは難しいなと感じました。農業が合うと見込んでいたのですが、実習が終わってから娘から「弟はインドアの方が向いているよ。」と言われ、気づきがありました。

2回目の実習は軽作業中心の事業所に行きました。その作業は問題なかったのですが、利用者の方からのかかわりを受け止めきれず、息子にとってはとてもストレスになってしまいました。あまり自己表現が苦手な息子が「行きたくない。」と言ったのです。反省会では私も思うところがあり、事業所の方に息子にとって辛かった実習になったことを伝えました。進路先を選ぶのに場所や作業内容を重要視していましたが、最も重要視することは支援者や利用者の人の環境だということを実感しました。

進路を決めていくはずの実習が2回とも納得いかない結果になり、思い悩んでいたころ、迎えなどいろいろな面でサポートしていた祖母が亡くなりました。突然のことで現実を受け入れることも、これからの見通しももてず私自身心理的につらかった時期でした。

担任の先生や進路担当の先生に、息子にとって合いそうな事業所の情報提供をしていただき、改めて見学や体験をさせていただきました。その事業所の方が息子に寄り添ってくれて、支援方法など一緒に確認し、息子も「ここに行きたい。」と言っていました。3回目の実習で作業内容も支援者との連携もうまくいき、無事に内諾をいただくことができました。

私からのアドバイスは先生方から情報をいただき早い時期から複数の事業所を見学し、体験させていただける事業所であれば体験をさせていただくことが大切だと思います。早い段階で我が子も事業所もお互いが良く知っている関係になることが、実習がうまくいく秘訣だと思います。これからの皆様の進路がうまくいくことを心より願っております。